大阪フロイデニュース

Freude

vol. 7-21 2015.11.4.wed

チケット売り行き好調♪
ノルマは11/15までにクリアしてね!!

大阪フロイデ合唱団　Tel 06-6358-2626
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B
ホームページ http://www.osakafreude.com
メールアドレス info@osakafreude.com

自分でテーマを持って練習にのぞもうよ!!

「先週注意されたことは 今日は絶対 注意されないようにする!」
「語尾をりきまない! 『ことば』を感じてうたうぞ!!」
などなど、自分で自分に厳しくしないとステキな音楽にならないし
つまんないよ〜。そんで おすすめなのが…

楽譜をはずそう 指揮を見よう さあ 暗譜!!

楽譜にかじりついているそこのハクナタ。もう とっくに
「暗譜の季節」がやってまいりました。「なんで覚えなアカンの〜?」
というギモンもあるかもしれませんが 私たちのとりくんでいるのが
"合唱"(カラオケではない!)…ということは 出るタイミング 伸ばすのを
終えるタイミング ふくらませるところ みんなでそろえなければ合唱
になりません。ということは指揮に集中し 指揮に合わせることが最も
大事。プロではない私たちは楽譜も指揮も両方 なんて器用なことはできません。そこで
"あんぷ"となるわけ!! あんぷは勇気です。まず はずして指揮だけ見てうたってみよう!
※お道はひらけてるよ!!

楽譜から自由になって、詩や音楽の空気の方に意識を向けるようにしよう!!

11/6(金)
とっても大事な
運営委員会
於事務所
18:30〜

11/11(水)
18:30〜
堀江アルテ

11/15(日)
13:15〜
港区勤センター
(地下鉄中央線「朝潮橋」下車8分)

地図は先週号

11/18(水)
18:30〜
堀江アルテ

◆「神なる主よ、天の王よ、全能の父なる神よ」
＝「神なる主、天の王、全能の父なる神よ」

バスMさんの「これを読めば もっと音楽が豊かになる」のコーナー!!

domine は男性名詞 dominus「主」の呼格なので「主よ」です。英語の dominate や仏語の dominer「支配する」の語源ですね。**deus** は男性名詞「神」で、英語の deity「神格」や仏語の dieu「神」の語源です。なお、**deus** は dominus と同じく第 2 格変化の名詞なので、規則通り変化させると呼格は dee のはずですが、語呂が悪いせいか「**deus** は特例で呼格も **deus** である」という個別の規則があります。

rex は「王」で、英語のロイヤル royal や regal「王の」、仏語の roi「王」の語源です。caelestis は形容詞で「天の」です（ちなみに名詞の「天」は caelum）。**caelestis** は、**coelestis** と綴られることもあります。楽器のセレスタ（チェレスタ）celesta という鉄琴も、天上界から響くような清い音なのでその名が付きました。

pater は「父」で、英語の father や仏語の père「父」の語源です。**pater** を「パーテル」と読む人が（全国的に）多いですが、正しいラテン語としては pa- は短く「**パ**テル /pá-ter/」と読みます。ラテン語では母音の長短で意味が変わるので、歌うときは関係ありませんが読むときには母音の長短に気を付けて欲しいものです。幸い、pater には「パーテル」と読む別の単語がありませんが、例えば malus は、「**マ**ルス /má-lus/」と読めば「悪」、「**マー**ルス /má:-lus/」と読めば「リンゴ」になります。また、Maria (maria) を「マ**リー**ア /ma-rí:-a/」と読めば「マリア様」、「**マ**リア /má-ri-a/」と読むと「海（複数）」の意味になってしまいます。気を付けましょう（父 pater は「**パ**テル」ですが、母 mater は「**マー**テル」と長母音で読むのが正解です）。

なお、**pater** は、**rex** や **pax** と並んで第 3 格変化をする名詞ですが、実に厄介なことに基本形、つまり単数主格の綴りが一見「不規則」という性質があります。この部類の単語が出てくると、すぐには基本形が分からないので辞書を引くのが困難です（いろいろ類推して引かなければなりません）。**omnipotens** は「全能の」という形容詞で、omni- は omnis「全ての」、potens は「能力のある (potential)」という意味ですので、合体して **omnipotens**「全能の」になります。potens 自体は、動詞 posse「できる、可能だ(be able to, can)」（基本形は possum）の現在分詞です。

名詞		第 2 格変化男性型		第 2 格変化中性型		第 3 格変化第 1 類			
		男性名詞「主」		中性名詞「王国」		男性名詞「父」		女性名詞「平和」	
単数	主格	dominus	主は	regnum	王国は	*pater*	父は	*pax*	平和は
	属格	domini	主の	regni	王国の	patris	父の	pacis	平和の
	与格	domino	主に	regno	王国に	patri	父に	paci	平和に
	対格	dominum	主を	regnum	王国を	patrem	父を	pacem	平和を
	奪格	domino	主から	regno	王国から	patre	父から	pace	平和から
	呼格	domine	主よ	regnum	王国よ	*pater*	父よ	*pax*	平和よ
複数	主格	domini	主らは	regna		patres	父らは	paces	
	属格	dominorum		regnorum		patrum		pacum	
	与格	dominis		regnis		patribus		pacibus	
	対格	dominos		regna		patres		paces	
	奪格	dominis		regnis		patribus		pacibus	
	呼格	domini		regna		patres		paces	

※斜体文字は不規則形。第 3 格変化は単数主格（基本形）と呼格が不規則で、それ以外の格が規則変化。*pater, pax* の語形は、共に活用語幹 **patr-, pac-** を綴りの上では明示的に持たないことを表す。